

草津市版地域再生計画

老上西学区 まちづくりプラン



令和4年3月

(令和8年3月改訂)

老上西学区まちづくり協議会

草津市

・・・ 目 次 ・・・

1. まちづくりプランの位置づけ	1
2. 老上西学区の状況	2
3. 老上西学区のまちづくりの経緯	10
4. 老上西学区の課題	11
5. 基本方針と施策メニュー	12
6. 推進計画の進行管理	14
7. 老上西学区まちづくりプラン策定の体制・経過	15

1. まちづくりプランの位置づけ

(1) まちづくりプランとは

- ・草津市版地域再生計画で掲げた課題の解決や将来ビジョンの具現化に向けて、対象学区ごとに地元でのワークショップ等で検討した事項を反映させ、具体的に取り組む施策などを取りまとめた実行計画にあたります。
- ・実効性の高い計画とするために、短期（4～5年を目安）計画とし、施策の進捗管理を行いながら必要に応じて、見直しなども行いながら、確実に施策の推進を図っていくものです。

(2) まちづくりプランの位置づけ

- ・まちづくりプランの位置づけについては、図-1 に示すように上位計画として、「総合計画」および「大津市湖南都市計画区域マスタープラン」、「都市計画マスタープラン」があり、関連計画として「健幸都市基本計画」があります。
- ・これらの計画を踏まえながら、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの実現に向けた「地域再生計画」「立地適正化計画」「地域公共交通網形成計画」の3つの計画が互いに連携して取組みを推進しています。
- ・まちづくりプランは、この中の草津市版地域再生計画の方針に基づき、その他の関連計画と連携しながら、具体的な実行計画を示すものです。

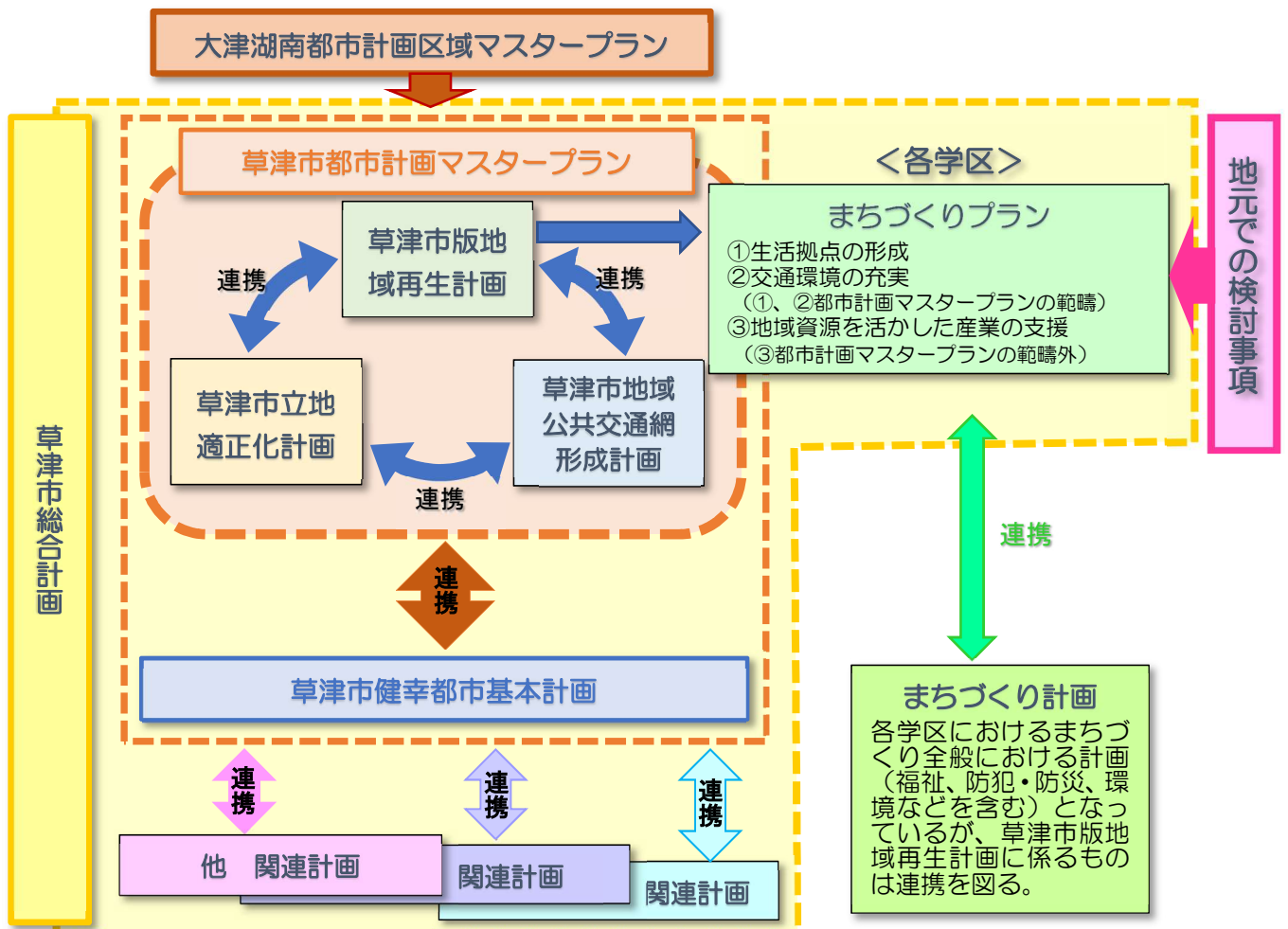


図-1. まちづくりプランの位置づけ

2. 老上西学区の状況

(1) エリア・人口・高齢化等の状況

① エリア

・表-1 に示すように、老上西学区は面積 441ha（市全体面積の約 9.1%）で、約 8 割が市街化調整区域となっています。図-2 は老上西学区の位置を示しています。

表-1. 老上西学区の面積割合（市街化区域と市街化調整区域）

	市街化区域		市街化調整区域		合計面積 (ha)
	面積 (ha)	割合	面積 (ha)	割合	
市全体	1,911	39.6%	2,911	60.4%	4,822
老上西学区	97	21.9%	344	78.1%	441

※面積は琵琶湖の面積は除いたものとしております。

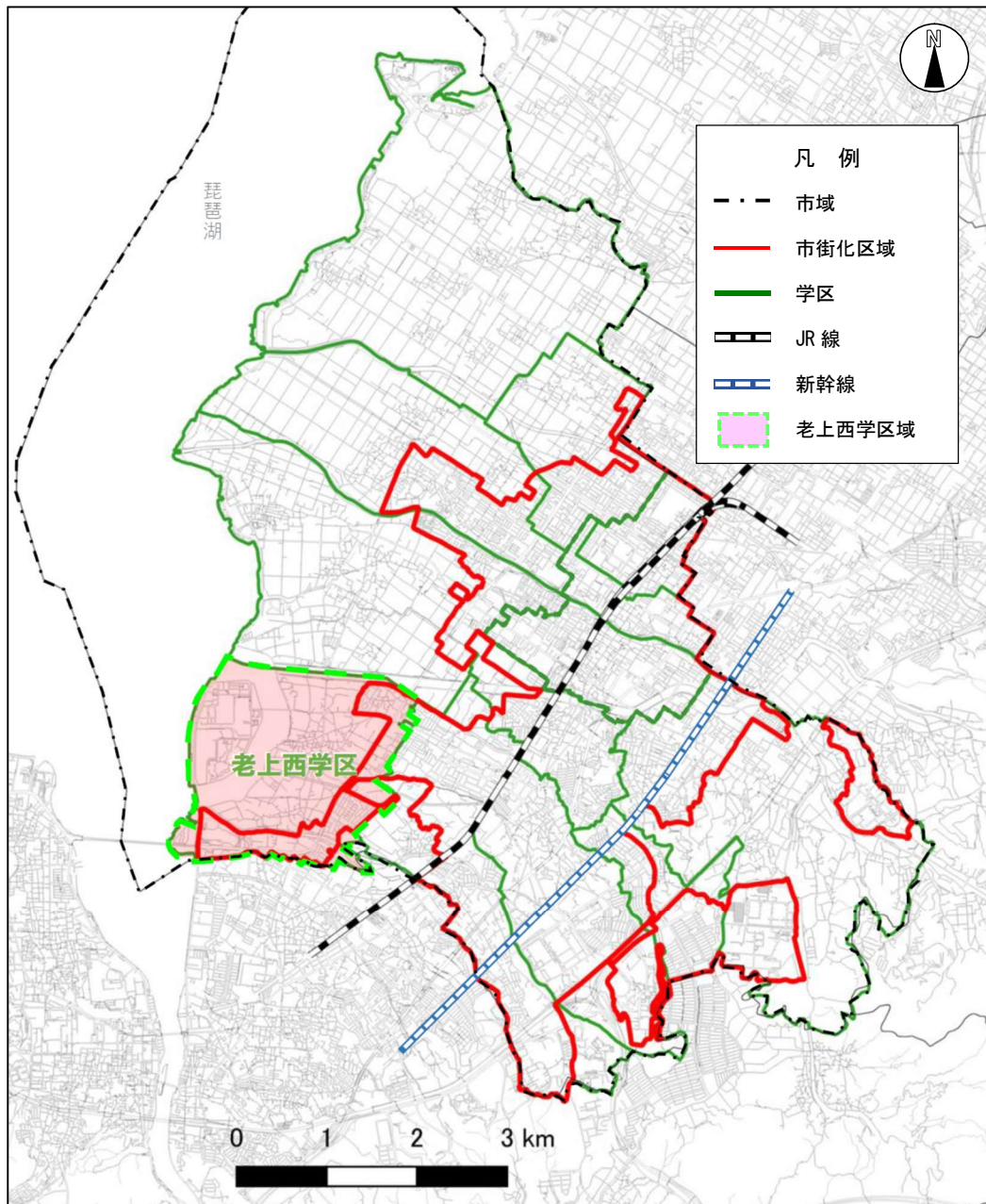


図-2. 老上西学区の位置図

②人口

- 表-2に示すように、老上西学区では平成22年から平成27年の5年間で、学区全体では約600人増加しており、学区の市街化調整区域では約700人増加しています。今後も学区全体では増加することが見込まれ、令和22年に学区全体で約9,800人となりますが、市街化調整区域に限るとほぼ横ばいの約4,700人となることが予測されており、平成27年と比べ、学区全体では約1割の増加が見込まれています。

表-2. 人口の現状と将来予測（平成22年、平成27年、令和22年）

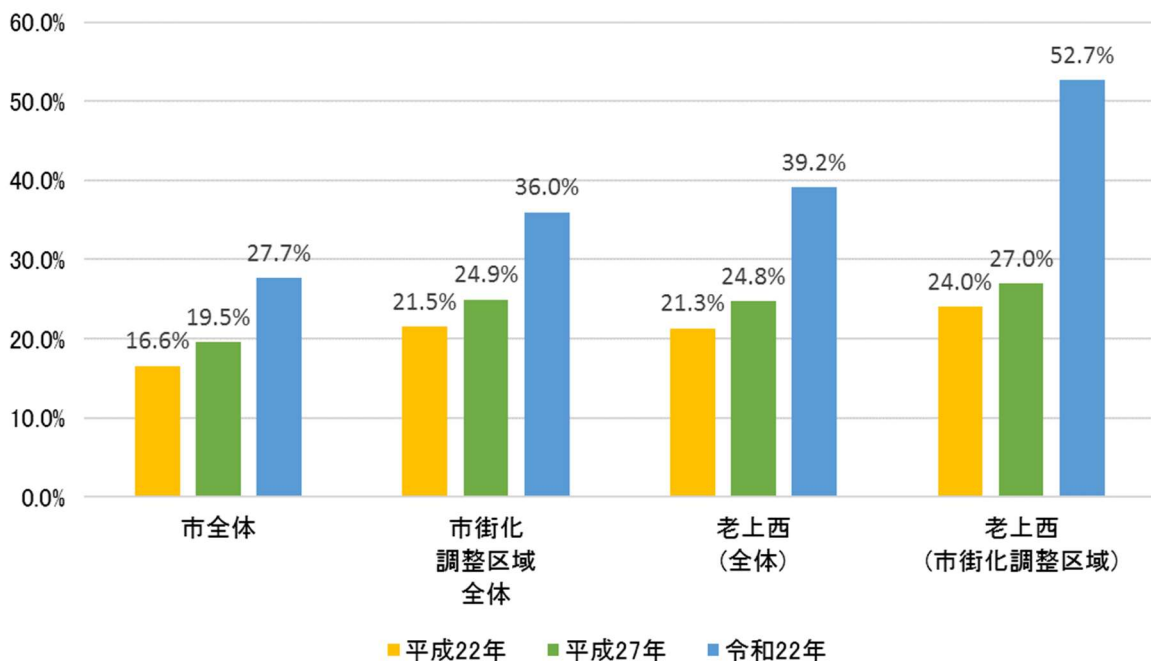
（数字の表記は千人単位としているため、実際の数値とは誤差が生じる）

	平成22年	平成27年		令和22年	
	人口(千人) (A)	人口(千人) (B)	増減率 (B/A)	人口(千人) (C)	増減率 (C/B)
市全体	130.9	137.2	4.8%	145.1	5.7%
市街化調整区域全体	25.0	26.5	6.0%	24.3	▲8.2%
老上西学区(全体)	8.0	8.6	7.5%	9.8	13.4%
老上西学区(市街化調整区域)	4.1	4.8	17.1%	4.7	▲2.1%

出典：平成22年、平成27年は国勢調査、令和22年は立地適正化計画基礎調査による推計結果データの積み上げ

③高齢化率

- グラフ-1に示すように、老上西学区の高齢化率は平成22年から平成27年の5年間で、学区全体では約3.5ポイント、市街化調整区域では約3.0ポイントそれぞれ上昇し、24.8%と27.0%になり、高齢化が進行していることがわかります。その後も高齢化が進むことが予測されており、令和22年には40%近くなることを見込まれています。
- 市全体と比較すると同程度の割合で、市街化調整区域全体と比較すると高い割合で高齢化が進むと予測されます。



グラフ-1. 高齢化率の現状と将来予測（平成22年、平成27年、令和22年）

出典：平成22年、平成27年は国勢調査、令和22年は立地適正化計画基礎調査による推計結果データの積み上げ

(2) 生活利便施設の状況（草津市版地域再生計画の再掲）

- 生活利便施設は都市機能施設のうち、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンドブック」において生活サービス施設としている、医療施設・高齢者福祉施設・商業施設の3施設を対象としました。

対象施設	定義
医療施設	病院・診療所で内科または外科を有する施設
高齢者福祉施設	通所系施設、訪問系施設、小規模多機能施設
商業施設	1,000㎡以上の大型店舗

- 徒歩圏人口カバー率は、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンドブック」において、徒歩圏を一般的な徒歩圏である800m（バス停は誘致距離を考慮し300m）としており、対象施設の位置を中心とした徒歩圏内に存在する人口の総人口に占める割合としています。
- なお、徒歩圏人口カバー率は、町内会別ではなく町丁ごとの整理としており、人口については平成22年国勢調査データを使用しています。

① 医療施設

- 図-3に示すように、老上西学区における医療施設は4箇所あり、学区全体の徒歩圏カバー率は96.6%と高くなっており、南笠町では50%以上70%未満とやや低くなっています。

施設名称	住所	診療科目
草津総合病院	草津市矢橋町 1660	総合病院
(医)産科婦人科ハピネスバースクリニック	草津市矢橋町 233-3	小児科、外科、産婦人科、産科、婦人科
おうみクリニック	草津市新浜町 85-19	内科、小児科、整形外科、脳神経科
おとのりクリニック	草津市矢橋町 2070-1-1309	内科、精神科、診療内科

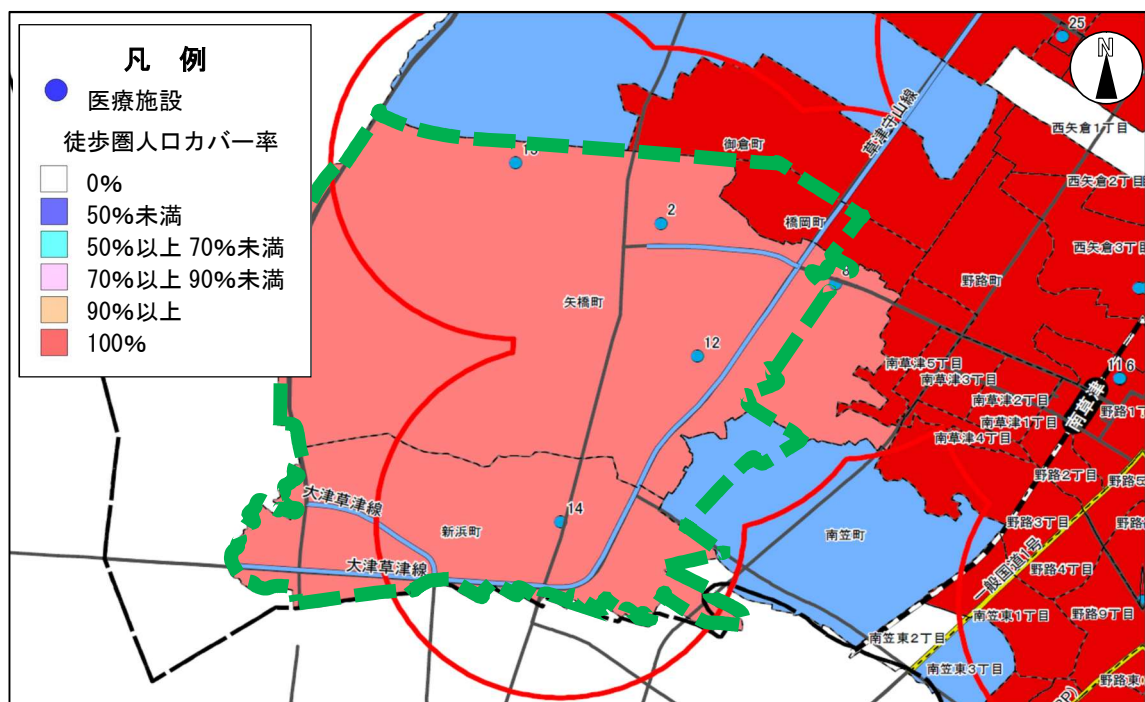


図-3. 徒歩圏人口カバー率 医療施設（データ整備年次 平成26年）

② 高齢者福祉施設

・図-4に示すように、老上西学区における高齢者福祉施設は、公共介護施設が1箇所、通所系が4箇所、訪問系が3箇所あり、隣接する学区にも多数立地しているため、学区全体の徒歩圏人口カバー率は92.9%となっております。新浜町では70%以上90%未満とやや低くなっています。

施設名称		住所
草津市老上在宅介護支援センター		草津市矢橋町 885-1
通所系	ケアステーション一歩 ディサービス一歩	草津市矢橋町 155-4
	ケアタウン南草津通所リハビリテーション	草津市矢橋町 621
	草津市老上デイサービスセンターきはん	草津市矢橋町 885-1
	社会医療法人誠光会 草津総合病院	草津市矢橋町 1660
訪問系	よつば訪問看護ステーション ヘルパーステーションよつば	草津市矢橋町 621
	社会医療法人誠光会 草津総合病院訪問看護ステーション	草津市矢橋町 1660
	あいサポートセンター	草津市新浜町 8-5

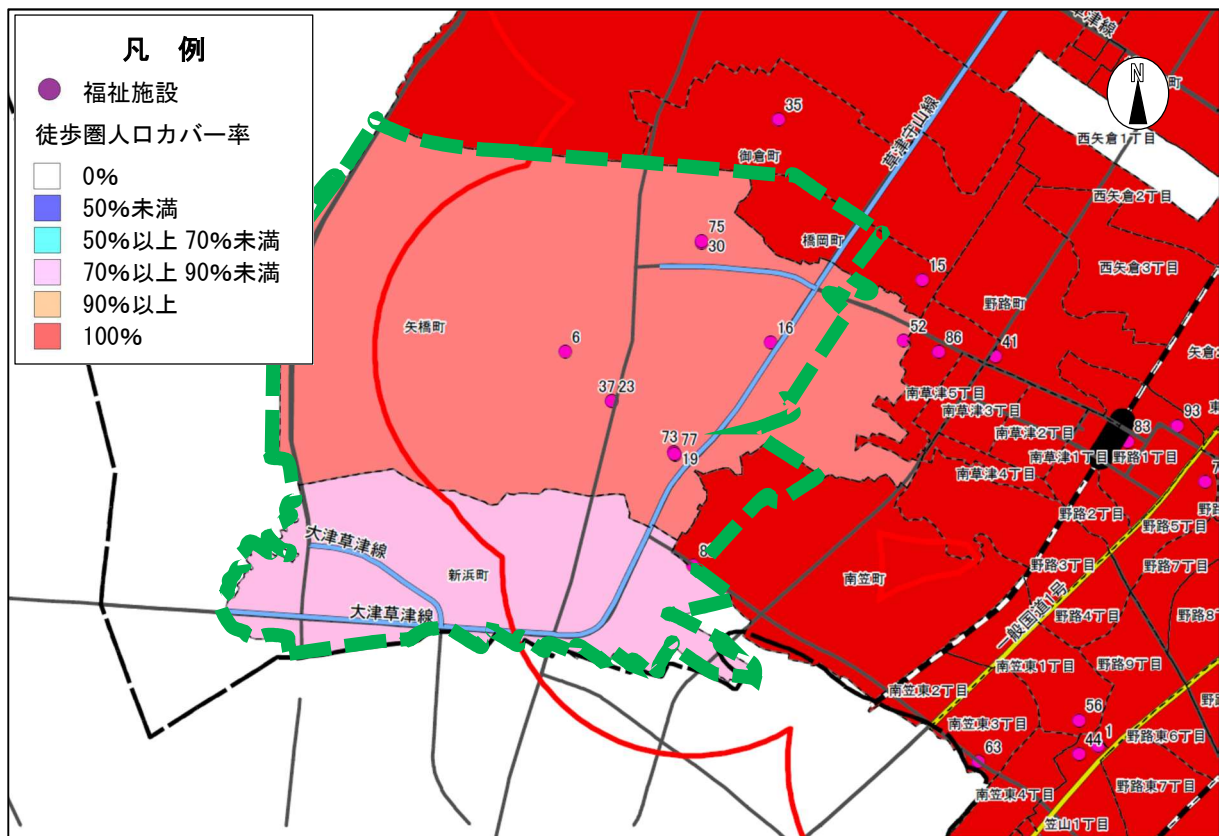


図-4. 徒歩圏人口カバー率 高齢者福祉施設
(データ整備年次 公共介護施設 平成 27 年 民間介護施設 平成 28 年)

③ 商業施設

- ・図-5 に示すように、老上西学区における 1,000 m²以上の商業施設は 3 箇所あり、学区全体の徒歩圏人口カバー率は 58.5% となっております。商業施設が立地している新浜町では 100% となっておりますが、矢橋町、橋岡町、南笠町では 50% 以上 70% 未満となりやや低くなっています。

施設名称	住所
近新近江大橋店	草津市新浜町 55-1
イオンモール草津	草津市新浜町 300
ケースデンキ草津南店	草津市新浜町 408

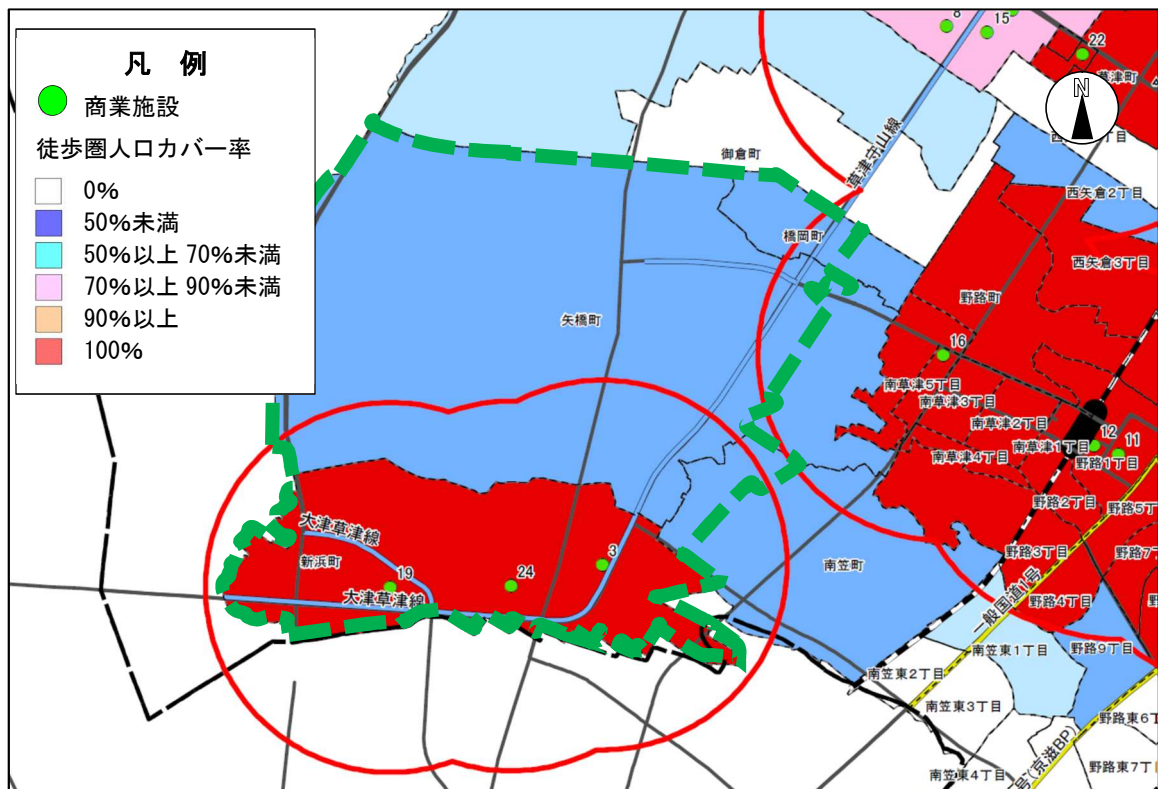


図-5. 徒歩圏人口カバー率 商業施設（データ整備年次 平成 29 年）

(3) 公共交通の状況

- ・図-6 に示すように、公共のバス路線が南草津駅から主要地方道草津守山線や浜街道などを通っていることから、老上西学区における基幹的公共交通¹の徒歩圏人口カバー率は、学区全体で 61%と市の平均的な数値となっております。また、町別で見ると橋岡町で 90%以上、新浜町で 80%以上 90%未満、矢橋町で 70%以上 80%未満となっておりますが、南笠町では 60%未満と低くなっています。

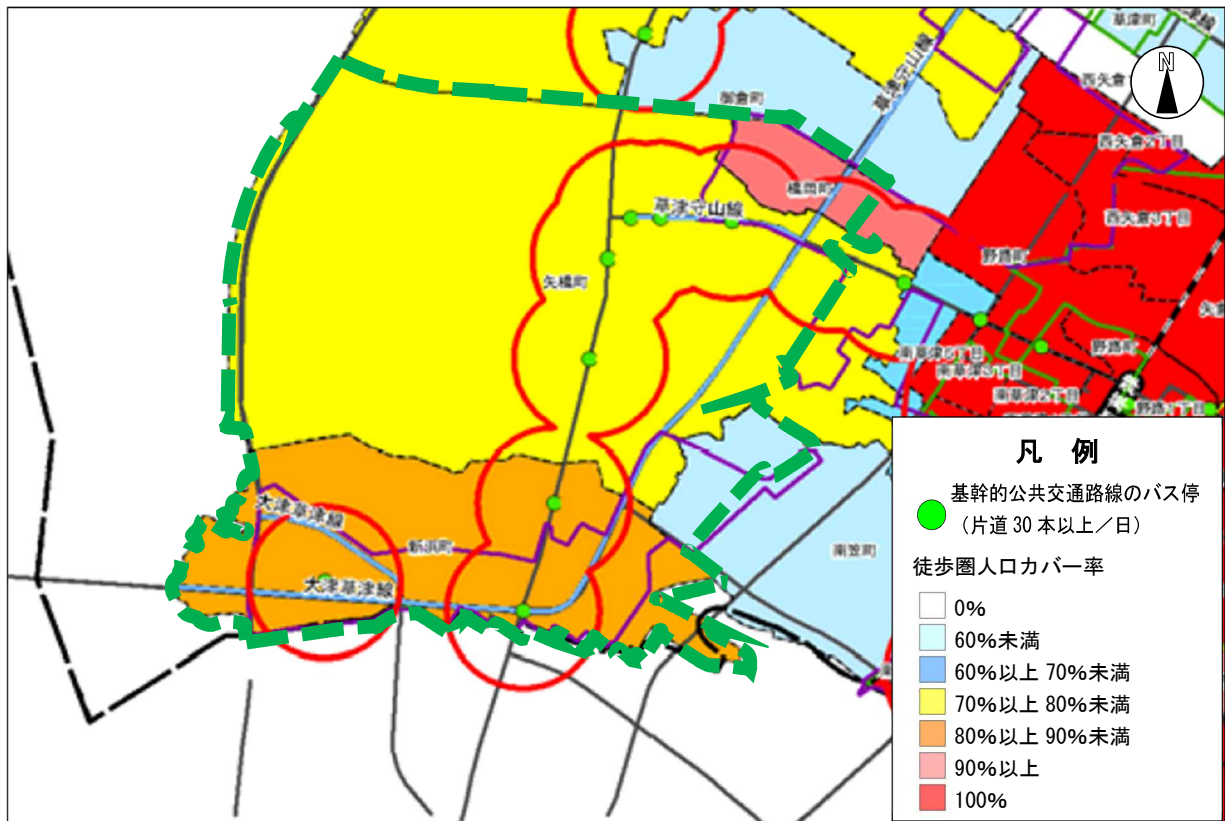


図-6. 徒歩圏人口カバー率 公共交通 (データ整備年次 平成 22 年)

¹基幹的公共交通は 1 日に片道 30 本以上の運行頻度のバスとしています。

(4) 地域資源の状況

《観光》

- 老上西学区にある「矢橋帰帆島公園」は、下水処理場のために琵琶湖を埋め立てた人工島に整備された公園であり、公園内には子どもの広場や大はらっぱ広場、せせらぎの池、遺跡の広場、キャンプ場、グランドゴルフ、プール、テニスコート、相撲場などの施設があります。



子どもの広場



おもしろ自転車



プール

- 矢橋港は、万葉集にも詠まれていることから古代から港の機能を有していたといわれています。江戸時代には近江八景の一つ“矢橋の帰帆”として歌川広重の浮世絵や伊勢参宮名所図会で描かれました。現在「矢橋港跡」は遺跡公園（矢橋公園）として石積突堤が整備された形で残されています。



遺跡跡公園（矢橋公園）

- 最澄が創建したといわれる本堂が国の重要文化財に指定されている「石津寺」や、源頼朝が馬上から鞭でこの神社の森を指して名前を尋ねたことに由来する「鞭寄八幡宮」などがあります。



石津寺



鞭寄八幡宮

- 2019年に草津ブランドとして認定された「銀峰工房」は、伝統的な金属工芸技術を礎に銀製のかんざしや帯留め等を作成しています。



銀峰工房「かんざし」

・老上西学区には図-7、表-3 が示すような観光の地域資源があります。

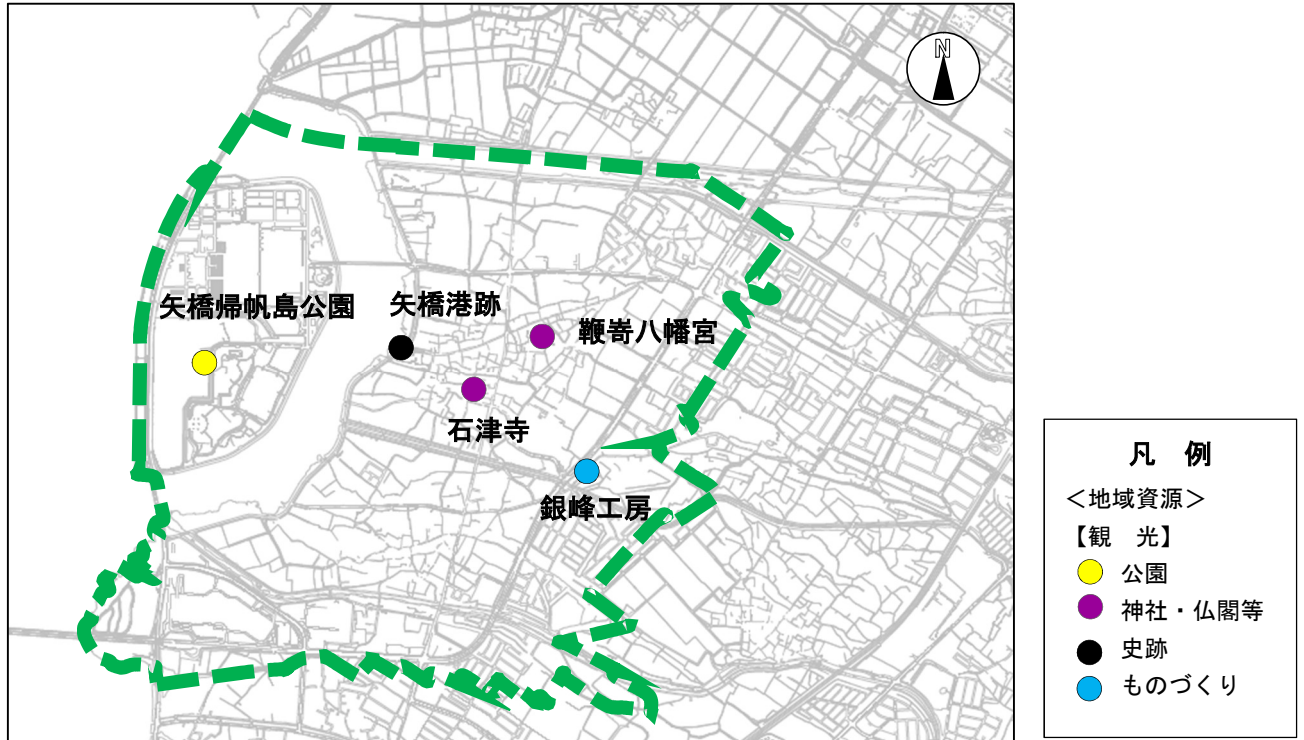


図-7. 老上西学区の地域資源分布図（主なもの）

表-3. 老上西学区の地域資源

地域資源			所在地	
区分	名称	概要		
観光	公園	矢橋帰帆島公園	下水処理場のために琵琶湖を埋め立てた人工島に整備された公園で、キャンプ場やプールなどの施設が整備され、年間50万人以上の来場がある。	矢橋町帰帆2108
	神社・仏閣等	鞭寄八幡宮	社名は建久元年（1190）上洛途上にあった源頼朝が馬上から鞭をもって神名を尋ねたことに由来する。重要文化財に指定される表門は旧膳所城の南大手門を移築したものの。	矢橋町
		石津寺	当時に宿陣した足利義詮が霊夢に感じて延文4年（1359）に再建したと伝えられる。正面5間、側面4間の寄棟本瓦葺の本堂は重要文化財である。	矢橋町
	史跡	矢橋港跡	矢橋港は近江八景「矢橋の帰帆」で著名であった。発掘された3本の石積突堤一帯が公園となっており、石造常夜灯も現存する。	矢橋町2090-1337-1
	ものづくり	銀峰工房	伝統的な金属工芸技術を礎に、簪（かんざし）や帯留めといった和装・洋装等の装飾品を生み出しています。機械では作れない強く繊細な美しさのある伝統の枠を超えるオリジナルを作り続けています。	矢橋町

3. 老上西学区のまちづくりの経緯

①まちづくり計画【まちづくり協議会】

- ・老上西学区では、平成28年3月に「老上西学区まちづくり協議会」を設立され、草津市協働のまちづくり条例に基づき、平成28年4月に草津市から認定を受けました。まちづくり協議会は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えのもと、より住みやすい地域づくりをするために、目指すべき将来像を掲げるとともに、その実現に向けた取り組み内容を示した地域まちづくり計画を立て活動しています。計画期間は平成31年度から令和5年度の5年間とします。

基本理念	地域の人びとの共通の願いや課題の解決を図ると共に、地域コミュニティを強化し、お互いに支え合い、助け合いながらこれからも安全・安心に暮らし続けられるまちづくりを進めていきます。
スローガン	お互いに支え合いながら、安心して暮らせるまち 住んでみたいと思えるまち 老上西
基本方針	① みんなのコミュニティ意識を高め、生き活きと健康に暮らせるまちづくり活動へ参加しましょう。 ② 安全・安心に住み続けられる「まち」をつくりましょう。 ③ 地域で高齢者・子ども・障がい者などを支えましょう。 ④ 地域の子どもは、地域で見守り育てましょう。 ⑤ すべての人の権利を重んじ、差別をなくしましょう。

②老上西学区まちづくりプラン（本計画）

- ・草津市版地域再生計画における老上西学区の将来ビジョンを切り口として、検討した具体的な施策を提示します。